

## 後期学校評価アンケートの結果の報告

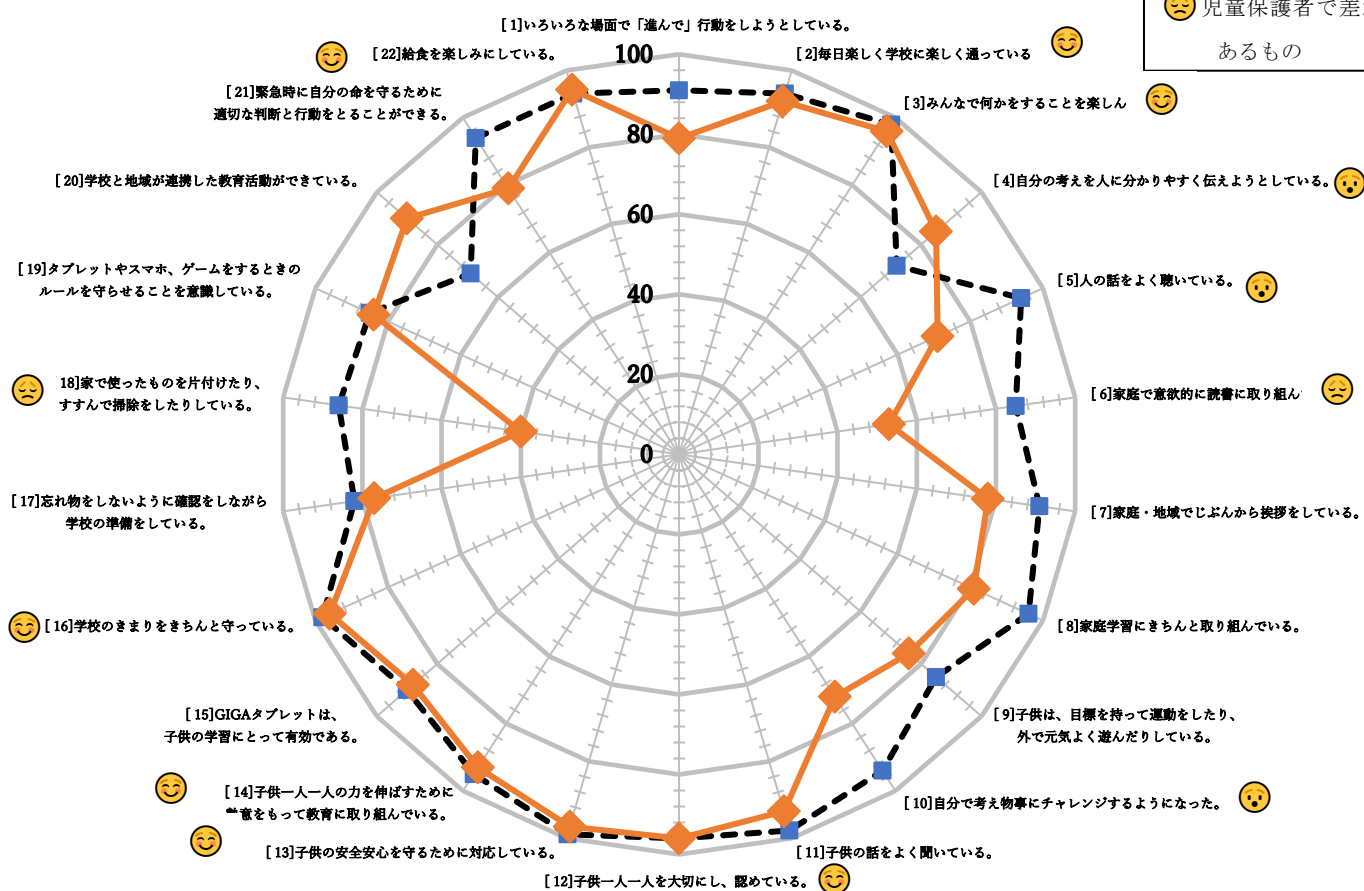
後期学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました。

皆様の思いをしっかりと心に刻み、今後の教育活動をさらに充実させていきたいと思っております。

### 学校評価 保護者と児童の比較

---■--- 子供      —◆— 保護者

- 😊 90%以上のもの
- 😐 課題があるもの
- 😞 児童保護者で差があるもの



上のグラフは、後期の学校評価アンケートで、「そう思う」「だいたいそう思う」の数値を合計したものです。点線は児童、実線は保護者を表しています。このグラフの設問項目2, 3, 11, 12, 13, 14, 16, 22 などからは、90%以上の児童・保護者が、充実した学校生活を送れていると感じていることがわかります。一方、項目4「分かりやすく伝える」は、他の項目に比べて低くなっています。「自分の考えを分かりやすくまとめる」特に書くことになると、苦手意識を持つ子が多いような気がします。項目6, 18の読書・片付けや掃除については、児童と保護者の評価に大きな違いがあります。学校の頑張りがそのまま家庭での姿に結び付くかという、個人差があるように思われます。

児童の評価では、「3 みんなで協力」「11 子供一人一人を大切にしている」「13 安心して過ごせる」「16 きまりを守る」の項目が高い数値を示しています。これらの結果から、子供た

ちが友達とのつながりの大切さを感じていることが分かります。また、日常の生活や教育相談などの中で、子供と教師が良い関係にあることも分かります。一方、自己表現の1つである「4 意見を発表する」では、自分の考えを言葉で表現することについて約3割の児童が満足していないという結果が出ています。今後も子供たちがより「伝えたい！」と思える授業や活動を工夫していきたいと思えます。

重点目標「よし やってみよう！！」に関する「10 物事にチャレンジする」の結果を見ると「そう思う 42%」「どちらかといえばそう思う 51%」と自信を持って言える子は半数以下です。授業や学級活動・委員会活動の際、子供たちの思いを尊重し、子供中心で活動を進めるようにしてきました。主体性の芽が見え始めてきてはいますが、子供が自己実現できた満足できるまでには至っていません。なかなか目に見えにくい部分ではありますが、伸びてきている芽を大切にしていきたいと思えます。

「6 読書」については、年3回の読書旬間を中心に子供の読書習慣をつけていくよう継続して力を入れていきます。ボランティアさんによる読み聞かせも充実しています。さらにこれが家庭での読書に結び付くようにしていきたいと思えます。

「15 GIGA タブレットは学習に有効」の数値は、95%から90%に下がっています。活用スキルは大変向上していますので、より有効な活用について教師も進めていきます。正しい情報モラルを身に付け ICT を活用していくことは、子供の今後において大切な力です。機器の使用は1つの手段であり、それが目的にならないように留意していきたいと思えます。

## 【 2 前期・後期の結果比較 】

項目	児童			保護者		
	前期	後期		前期	後期	
1 自分から取り組む	92.8%	90.6%	↘	84.8%	79.1%	↘
2 学校が楽しい。	95.4%	94.4%	↘	95.7%	92.1%	↘
3 みんなで協力	98.5%	98.4%	↘	97.5%	95.7%	↘
4 発表ができた	76.3%	72.0%	↘	82.2%	84.8%	↑
5 話を聴く	97.4%	94.4%	↘	68.9%	71.2%	↑
6 読書	82.5%	84.7%	↑	45.7%	52.5%	↑
7 じぶんから挨拶	94.9%	91.1%	↘	76.8%	78.3%	↑
8 家庭学習	91.7%	96.0%	↑	80.5%	80.6%	↑
9 体力づくり	90.2%	84.6%	↘	83.5%	76.1%	↘
10 物事にチャレンジ	90.7%	93.5%	↑	68.9%	71.9%	↑
11 教師との関わり	97.4%	97.6%	↑	90.9%	93.5%	↑
12 学校の様子を知らせる	94.9%	96.0%	↑	93.3%	96.4%	↑
13 安全な学校	97.4%	99.2%	↑	97.0%	97.1%	↑
14 授業は分かりやすい	93.8%	95.1%	↑	95.7%	93.5%	↘
15 ICT機器は有効	95.0%	90.3%	↘	87.8%	87.8%	—
16 学校のきまりを守る	96.4%	98.4%	↑	97.0%	96.4%	↘
17 準備をしっかりとる	85.6%	82.3%	↘	77.4%	77.0%	↘
18 片付け	94.3%	86.3%	↘	39.6%	39.6%	—
19 スマホのルール	95.9%	85.5%	↘	89.0%	84.2%	↘
20 地域との連携	76.3%	68.5%	↘	90.9%	89.9%	↘
21 自分の身を守る	99.0%	94.4%	↑	75.0%	79.0%	↑
22 給食が楽しみ	97.4%	94.4%	↘	97.0%	94.9%	↘

(数値は、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた数です)

### 【 3 学校の数値目標から 】

児童の評価 項目	できている	まあ できている	合計	グランドデザイン 目標値
学校が楽しい	73.8%	20.6%	94.4%	95%
進んで挨拶	61.8%	29.3%	91.0%	80%
みんな背協力	85.7%	12.7%	98.4%	90%
きまりを守る	57.7%	40.7%	98.4%	90%
授業が分かる	64.2%	30.9%	95.1%	95%
ICT機器の活用	57.9%	32.4%	90.3%	85%
家庭学習の充実	60.5%	35.5%	96.0%	80%
自分から伝える	32.8%	39.2%	72.0%	80%
読書を楽しむ	51.6%	33.1%	84.7%	85%
安全な学校・命の教育	67.7%	26.6%	94.4%	95%
自分から取り組む	41.9%	51.6%	93.5%	85%
進んで体力づくり	57.7%	26.8%	84.6%	85%

グランドデザインの数値目標と児童の意識を比較してみました。多くの項目で目標を上回っています。ご家庭や地域の皆様のご協力のおかげだと思えます。

子供たちが「自分から取り組む」「自分から伝える」「みんなで協力」できた活動に児童会活動があります。「自分から行動」をスローガンに「ランダムチャレンジ」や「行動ビンゴ」を全校児童で取り組みました。「ランダムチャレンジ」は、双六の要素を取り入れて、クラスで目標をいくつか設定し、仲間とチャレンジする楽しさを味わいました。運営委員会が達成したクラスを昼の放送で紹介するなどして意識を高めていました。また、異学年交流の「にこにこ活動」では、6年生を中心に3年生以上が企画と運営をし、楽しく和やかに遊びました。また「がんばりフェスティバル」では、がんばっていることや得意なことを動画で紹介したものを全校で観て楽しみました。今年度初めて行った活動ですが、個人やグループ、学級で多くの子供が挑戦し、いろいろな子供の持ち味をみんなで楽しく認め合う場となりました。子供がそれぞれの意志を表明し、自己実現できる場をこれからも大切にしていきたいと思えます。

今回のアンケートで、「20 学校は、地域と連携した教育活動ができているか。」「21 子供は、緊急時に自分の命を守るために適切な判断と行動をすることができる。」を追加しました。20では、85.8%の子供が充実した学びを実感しています。今後も学校教育の様々な場面で地域の皆様にご協力いただき、地域と連携した教育活動を進めていきたいと思えます。21では、97.0%の児童ができるとしています。落ち着いて自分で判断して行動できるよう、日常生活の中で自分の命を守る行動の指導を続けていきたいと思えます。

## 【 4 保護者の皆様の意見から（抜粋） 】

- ・今でもしていただいているとは思いますが、いいことは褒めていただき悪いことはきちんと怒っていただけたらと思います。
- ・コロナでなかなか人と関われない時期を過ごしてきた子どもたちにとって、人間関係形成の大切な時期だと思うので、人の気持ちを考えてみることや何かを相談しながら作り上げてみるなど、人といっしょにやることの楽しさや難しさなど感じられると良いなあと思います。
- ・児童と保護者の意見にいつも耳を傾けてくださっていて、とても感謝しています。以前、ゲーム依存症について子供達にお話しした事があったと思います。依存症になると、ゲームをやり続けて学校まで休んでしまうという内容(言い回しが違っていただけすみません)だったと聞いています。実際は、その状態の前の段階の子供がとても多いように感じます。ゲームに夢中で、夕食やお風呂、宿題、明日の支度等が後回しになり、就寝時間も遅くなっているのは、依存症と言えると思います。自分は学校を休んでいないから、依存症ではないと安心させてしまうと、改善されないと思います。来年度は、前段階の内容にも重点を置いて伝えていただけたら、自分も例外ではない事に気づけるのではないかなど、提案させていただきました。

☆家庭内でしっかりルールを作り、それを守るような雰囲気作りが大切です。ゲームの依存性、スマホの正しい使い方について、SNS 講座を実施し、ルールが守れるよう指導に努めます。ご家庭におかれましては、通信の内容を時には確認したりフィルタリングをかけたりと安全に使用できるようお願いします。

- ・以前のアンケートでお便りを配信されても見ないので紙配布にして欲しいという意見があり、紙配布に戻すと記載がありました。間違っていたらすみません。その方の意見もわかりますが、配信のほうが先生方の労力・コストは少なくなり、その分を他のことにまわせるのではないかと推測します。電子化は世の中の流れですし、紙配布を希望する方は一部で、実は配信でも問題ない方も多いかもかもしれません。難しいのかもしれませんが、アンケートの意見をそのまま反映させるのではなく、意見を基に総意は何かを確認し、実行に移したほうが良いと思います。

☆皆さまからいただいたアンケートの意見は、大切に私達もPDCAを絶えず行い、学校運営をしてまいります。お知らせについては、大切な情報を確実に届けることが重要と考えています。学校だよりは学校の様子と行事予定を家庭内で共有していただきたいため紙面とマチコミの両方にしました。その他のおたよりは、内容に応じて紙面かマチコミ配信させていただいています。1月から出欠席の届けを「お休み連絡」にさせていただきました。学校も8時までに一覧で確認できますし、皆様からも好評のようです。

- ・いつもありがとうございます。  
子供の怪我の報告ありがたいのですが、仕事中に電話がかかってくる事が多く、事後報告や連絡帳で伝えてくださってもいいようなこともあるので緊急度に合わせていただけたらありがたいです。自分の子にもケガをなるべくしないように声掛けはしていきます。

☆怪我や集団生活の中での体調の変化などについては、大変ご心配をおかけしています。頭部を中心に首から上の怪我については、発達の過程にあるお子様に万が一のことがあってはならず、専門医の診断が必要だと考え、大変恐縮ですが連絡させていただいています。

たくさんの貴重なご意見をありがとうございました。

いただいたご意見を参考にし、子供たちが「じぶんらしく ともに かがやく」よりよい学校生活を送ることができるよう、精一杯支援してまいります。今後も、ご協力よろしく願いいたします。